

「バランスの取れた生き方...? 綱渡りみたいだな」そうじゃ、人生とは光に照らされた細いロープの上を、アビスという深淵に落ちない様に、一歩ずつ渡っていく長い道のりじゃ」「アビスという深淵?」「ああ、綱の下には魑魅魍魎が居る深淵が広がっており、光の道を踏み外した者はそれらの餌食となるんじゃ」「魑魅魍魎?」「魑魅とは山に居る化け物、魍魎とは河川に居る化け物のことじゃ」「え? 僕達は飛行機とかいう空飛ぶ化け物なんだから、同じ化け物同士じゃないか?」「口を失わずウイザットに「ははは。飛行機は化け物ではないぞ。あれは力学に基づいた文明の利器じゃ。その力学としてのバランスをワシらの人生に喩えたんじゃよ。魑魅魍魎こそは本物の化け物、低級霊とも言える「低級霊?」マジリアルが顔を曇らせる。「そうじゃ。この地球には天使やフェアリーが属する光と低級霊が属する闇のエナジーが混在しているんじゃ。地球は勿論素晴らしい星じゃが、宇宙の次元レベルで言えばまだまだ下のほうなんじゃよ」「宇宙の次元レベル?」「今度は?人が声を合わせる。」

「宇宙には、一次元、二次元、



三次元等の現実的な次元もそうじゃが、魂的にどこまで光に近いのか、という意味での次元も存在する。一番低い次元は暗闇、中間が地球の様な光と闇が混在している次元、最も高い次元は光だけの世界:「光だけの世界? 光があれば影が出るよね?」「それは光と闇がある世界のことじゃよ。光だけの世界というものがこの宇宙の何処かにあるんじゃ」「何だかよく解らないわ」「そうじゃ。ワシら人間の頭脳では認識出来ない世界じゃ」「そんな解らない世界のことを今ここで話しているも仕方ないじゃないか?」「ウイザットが再び口を尖らす。

「まあそうじゃが、そこがワシらの魂が目指している最終ゴールであるという考え方があって、それが真のスピリチュアリズムなんじゃよ」「スピリチュアリズム? 何かのリズムかい?」「ははは、違う違う。目には見えない世界の真理とでも言えるかのう。つまり、ワシらは何処から来て、何処に行くのか。何故生まれて来て死ぬのか。等の疑問に対しての答えの一つがスピリチュアリズムなんじゃ」「うくん、考えみれば、どうせ死ぬのに何で生まれて来る必要があるんだ?」「ウイザットが腕

組をしながら首を捻る。「それは、魂が次元的に上昇し、最終的に光となる途程長いジャーニーとしての一環のプロセスじゃ。魂は永遠ではあるが、肉体は永遠ではない。そのギャップの中で如何に生き、死ぬか、という課題をワシらは背負って魂の世界からこちらの世界にやって来るんじゃよ」「如何に生き、如何に死ぬか?」「マジリアルが目をはちパチさせる。「そうじゃよ。生きることに死ぬことは表裏一体。この地球に生まれ落ちた時から変化の中に居るワシらは、死を以てこの地球での人生を終える。生きることは変化し続けること。そして変化の最上級として死があり、死は更なる生への始まりでもある訳じゃ」「更なる生への始まり?」「魂はその都度違う肉体を持って生まれ代わり、成長に伴って光と一歩一歩近づいているんじゃよ」「ふうん...」「ウイザットとマジリアルは困惑した顔でマグワートの顔を見詰めた。

彼は、微笑んで頷きながら手に持っていた飛行機の模型をそとコートテーブルの上に置いた。コトリと模型がテーブルに置かれる音がした後、暫し3人は黙って座っていた。しかし、時の流れを淀ませる様な沈黙が続く中に在っても、静寂の鼓動は確実に時を刻んでいる。窓から差し込む日差しが徐々にオレンジ色を強め、床に伸びる物の影がその長さを増し始めていた。 つづく

チャネリング相談

Q この人だ!という人とやっと出逢いましたが、私にも相手にも既に家庭があり、世間的に見ると不倫です。だけど! 私達の愛は本物です。こんな出逢いの順番になった意味は何でしょうか?
(東京都在住 Nさん)

A 現象が起きたその理由を知りたいと切望する際、その答えを今世に探せない場合、それを前世のせいばかりにしてはいけませんが、Nさんのケースはやはり前世に答えがあると思います。前世では逆の立場だった様です。

結婚に至る相手は勿論、三角関係や不倫関係が生じた場合、そこに関係している人全て、が実はソウルメイトであり、生まれ変わる度に立場を変えて愛とは何かを一緒に学んでいる仲間の魂(スピリット)です。

え?不倫相手の奥さん(旦那さん)とも愛とは何かを学ぶソウルメイト?と思うかも知れませんが、実は同じ魂の村から来た同じ課題を一緒に学んでいる同志です。

つまり出逢った順番が問題というよりも、何をそこで学ぶかなのです。この世的には不倫は不道徳であり、出逢った順番によって何故こんなに苦しむのかとお思いになると思いますが、反道徳的なこと、そして苦しみを味わう(味わわれる)中での学びによって、本当の愛とは何かを学ぶという意味では、魂的には自らが選んできた通りのキャスティング、舞台、ということになります。

つまり、こんな出逢いの順番になった意味は何か、というご質問の答えは、同じ魂の村から来た魂(当事者とその家族を含めた周囲の魂全員)がそれぞれの立場を通して愛を深く学びたかったから、ということになります。

*魔女ともえは不倫を容認する者でも、罰する者でもありません。社会的(法律的)な良い悪いではなく、飽く迄もスピリチュアル的な解釈である、ということをご理解下さい。

注意: 魔女ともえが述べる内容はチャネリングによるひとつのサジェスションです。